

芸術監督・斎藤 純のショートエッセイ 石神の丘から 119

私がジャズを聴き始めたのは高校生のときでした。高校時代から岩手放送でアルバイトをしていた私は、番組でかけるLPのチェック（演奏時間をストップウォッチで計測しながら、レコードに傷が付いていないか調べるのです）などの作業を通して、ポップスやロックばかりでなく、ジャズにも触れていました。

私が高校生だったころは、盛岡市内にジャズ喫茶が4、5軒はありました。それぞれがマスターの個性を反映して特徴があり、客層も異なりました。その中で私が通ったのは、八幡町（住所は中の橋通）にあった伴天連茶屋でした。土蔵を改装したお店でしたので防音効果が高く、音量の大きいジャズ喫茶には最適な環境でした。

校則では禁止されていましたが、私は学校帰りに友人たちとよく伴天連茶屋に寄りました。学生服姿の高校生など迷惑だったでしょうけれど、マスターは決して私たちを追い出したりはしませんでした。ちょうどそのころ、文藝春秋社から五木寛之全集（全24巻）の刊行が始まりました。私がのめりこんだ五木寛之の小説世界と伴天連茶屋のジャズはみごとにマッチしていました。また、伴天連茶屋にはアンノン族と呼ばれていた流行の最先端をゆく若者たちが県内外から集ってきました。私にとって彼らは「大人の世界」でした。彼らの世界を垣間見たことが後の私の「糧」になります。

大学に入ってから、夏休みや冬休みのたびに私は岩手放送でアルバイトをしていたので、やはり伴天連茶屋に通いました。そして、お酒を飲める年齢になると、伴天連茶屋はますます身近な場所になっていきます。伴天連茶屋は岩手放送にも近かったので、番組に出たミュージシャンの接待をするのにもよく使われていました。下田逸郎、りりい、吉田拓郎、そしてあんべ光俊さんと酒を酌み交わした思い出は私の宝です。

もとより、ジャズ喫茶は時空を超越した空間です。ジャズ喫茶は盛岡にいながらにして東京やニューヨークやロサンゼルス、ジャズという音楽を通して味わえる場所です。そういう意味でも、私にとって伴天連茶屋はもうひとつの別の学校でした。

私がエフエム岩手東京支社に勤務していた1989年の春に、伴天連茶屋のマスターから「店を閉めることにした。記念に文集を出すので、何か書いてほしい」と連絡があったときは愕然としました。その後、たまに旧伴天連茶屋でライブが開かれたりすると懐かしく訪れたものです。

7月14日早朝、漏電による出火によって旧伴天連茶屋は焼失しました。怪我人がいないのは不幸中の幸いでしたが、私の青春の記憶をとどめている場所がこの世からなくなってしまいました。

石神の丘美術館通信《いしび》

ishibi

2019.8 Vol.197

令和元年8月発行
発行・岩手町立石神の丘美術館
岩手県岩手郡岩手町五日市
10-121-21 〒028-4307
TEL 0195-62-1453
FAX 0195-62-1477
<http://museum.ishigami-iwate.jp/>

屋外展示場はリニューアル工事の為
2020年初夏までお休みしています

Ohmiya masarO LAST DRAWINGS

大宮政郎 展

トワイライトゾーン&聖ぼおーと霊徒 2017-2019

8月10日[土]—9月16日[月・祝]

開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）
休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） *8/13(火)は臨時開館
観覧料金：一般300円/大・高生200円/中学生以下無料
・8/10は午前11時より開場式を行い、正午より一般公開します
・屋外展示場はリニューアル工事のため閉鎖中です
・20名様以上の団体または岩手町民の方は2割引、75歳以上の方は5割引になります
・障害者手帳の交付を受けている方は無料、介助者（1名）は5割引になります

主催：岩手町／岩手町教育委員会／岩手町立石神の丘美術館（株）岩手町ふるさと振興公社
後援：岩手日報社／朝日新聞盛岡総局／毎日新聞盛岡支局／読売新聞盛岡支局／
産経新聞盛岡支局／盛岡タイムス社／IBC岩手放送／テレビ岩手／めんこいテレビ／
岩手朝日テレビ／ラヂオ・もりおか／岩手町芸術文化協会



大宮政郎展

2017—2019
Ohmiya Masarō LAST DRAWINGS



《 骨頭の乱 》

2019年 8月10日(土)～9月16日(月・祝)

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日：毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日)

観覧料金：一般300円／大・高生200円／中学生以下無料

1930年岩手県水沢町(現奥州市)に生まれた大宮政郎は、1963年に村上善男、柵山龍司らと前衛的美術集団《N39》を結成するなど岩手における現代美術の先駆的活動を行ってきました。大宮は「人が動きながら、又は、移動しながら自らスピードをもって物を見、考えたなら芸術はどの様になるか……」という視点のもと、独自の「人動説」を唱え、立体、版画、写真と多彩な表現により実験的で詩情に満ちた作品を発表してきました。当館では、2006年に大宮の「人動説」を紹介する展覧会を開催しています。

歳を重ねてなお制作意欲は衰えることなく、現在、大宮は靈魂や魂を思わせるドローイングシリーズに取り組んでいます。

本展では、100点を越える近作のドローイング作品を紹介します。

【関連イベント／対談(絵よりおもしろいトーク)】

大宮 政郎(出品作家) × 斎藤 純(当館芸術監督)

8月10日(土) 13:30～15:00 美術館ホール／聴講無料

石神山の どうぶつたち

リニューアル工事のために長期お休みしている屋外展示場で地面に掘られた穴を発見!!



トウモロコシの食べ跡も残っていました。どうやら以前から目撃情報のあるニホンアナグマのようです。

— 次回の企画展 —

宇田義久展

9月28日(土)～11月4日(月・祝)



1966年福島県会津若松市生まれの宇田義久は、岩手大学特設美術科を卒業後、盛岡市を拠点に制作を続けています。本展では、新作を含めた近作を中心に紹介します。

美術館隣接 道の駅 石神の丘／レストラン石神の丘情報

道の駅 石神の丘 TEL0195-61-1600／レストラン石神の丘 TEL0195-61-1602



COLLEGE OF FES. 2019

2019.8.24(土)、25日(日)

開演11:00 入場無料

会場：石神の丘美術館野外劇場

今年で8年目を迎える《カレッジオブブロック》は、タイトルを《COLLEGE OF FES.2019》と題し、初の2DAYSでの開催が決定しました。バンド演奏だけではなく、パフォーマンス部門やクラフト市部門など内容盛りだくさん!

道の駅石神の丘・道路情報休憩施設では「カレッジオブフェス写真展」も開催中!

岩手町
ブランド
キャベツ
春みどり
たっぷりメニュー

ホルモンキャベツ
炒めセット 950円



キャベツたっぷり
石神タンメン 820円



いわてまちキャベ塩
焼うどん 700円



NEW 県内道の駅初
サントリーオールフリー〈精製〉300円
ノンアルコールビールテイスト飲料